

環境センターのダイオキシン類測定結果

当センターは昭和56年に稼働を開始、平成9年度から3カ年計画で設備を更新し、周辺の環境保全に十分配慮しながら安定した操業を行っています。

ダイオキシン類測定結果に関する過去10年間の測定経過は下表のとおりです。

測定年度 及び月日		排ガス中 (ng-TEQ/Nm ³)		煤塵中 (ng-TEQ/g-dry)		焼却灰中 (ng-TEQ/g-dry)		測定炉
		測定値	国の基準	測定値	国の基準	測定値	国の基準	
19年度	H19.9.28	0.049	1	0.54	3	0.0020	3	1号
	H20.2.25	0.047	1	0.58	3	0.0034	3	2号
20年度	H20.9.30	0.00057	1	0.37	3	0.011	3	1号
	H21.2.10	0.000075	1	0.25	3	0.012	3	2号
21年度	H21.9.25	0.00027	1	0.13	3	0.029	3	1号
	H22.2.9	0.0040	1	0.73	3	0.017	3	2号
22年度	H22.9.24	0.00024	1	0.23	3	0.0018	3	1号
	H23.2.7	0.0023	1	0.60	3	0.0077	3	2号
23年度	H23.9.27	0.00064	1	0.34	3	0.0062	3	1号
	H24.2.14	0.00018	1	0.44	3	0.0092	3	2号
24年度	H24.9.19	0.034	1	0.51	3	0.0056	3	1号
	H25.2.12	0.040	1	0.61	3	0.014	3	2号
25年度	H25.9.26	0.048	1	0.23	3	0.0053	3	1号
	H26.2.3	0.098	1	0.39	3	0.0099	3	2号
26年度	H26.9.25	0.022	1	1.1	3	0.027	3	1号
	H27.3.18	0.00067	1	0.47	3	0.037	3	2号
27年度	H27.8.12	0.000061	1	0.22	3	0.013	3	1号
	H28.2.2	0.0030	1	0.21	3	0.0069	3	2号
28年度	H28.9.23	0.013	1	0.36	3	0.0068	3	1号
	H29.2.1	0.024	1	0.50	3	0.0097	3	2号

※基準値＝ダイオキシン類対策特別措置法に基づく国の基準値

●ng(ナノグラム)＝10億分の1g

●TEQ＝ダイオキシン類はそれぞれ毒性が異なるため、その中で最も毒性の強い2,3,7,8四塩化ダイオキシンに換算した合計量

●m³N(ノルマル立方メートル)＝0℃,1気圧に換算した状態をNで表現した時の気体の体積

●g-dry＝乾燥重量1g